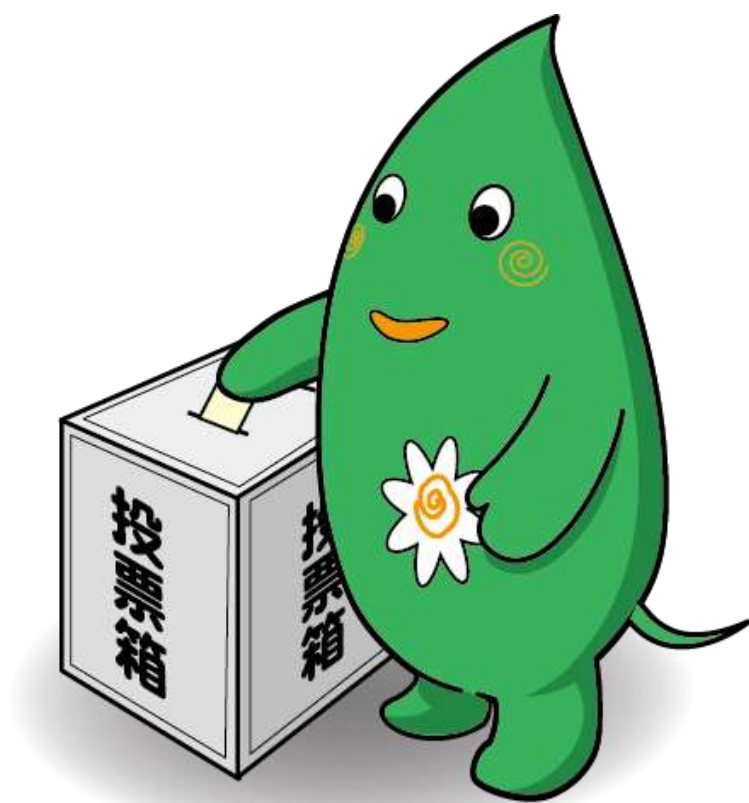


令和6年 政治と選挙の意識調査



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

◆◆ はじめに ◆◆

この調査は、大和市の有権者の皆様の政治に対する関心や意見、選挙に対する意識や行動、政治教育に対するニーズなどを把握することを目的としており、毎年度、市内の有権者を対象とした意識調査を実施しています。

昨年は、10月27日に第50回衆議院議員総選挙ならびに第26回最高裁判官国民審査が執行されました。今回の選挙は、新たに内閣総理大臣となった石破茂氏が、10月9日に衆議院を解散したため、解散からわずか18日間での選挙となりました。これは戦後において2番目に短い期間での選挙であり、入場整理券の手配や、投票所の設営など、事務局としてもとても苦しい中での選挙執行となりましたが、無事に選挙を執行することができました。

今回の本市においての投票率は、52.57%となり、前回の衆議院選挙と比較すると、2.13ポイント下回る結果となりましたが、期日前投票者数は37,279人となり、前回は839人上回りました。この結果からも期日前投票が選挙の仕組みとして有権者の皆さんに周知されてきているものと思います。

今回の調査は、衆議院議員総選挙の執行前に行ったアンケート調査ですので、今回の衆議院議員総選挙の結果やそれに伴う影響などは調査結果には反映されておりませんが、市民の皆さまが日々感じている政治や選挙についての意識や考えについて、具体的な質問を設け、市内在住1,000人の有権者を対象として実施いたしました。

なお、調査結果は、私どもが今後の啓発活動を効果的に行っていくための貴重な資料として役立たせていただきます。この調査を通して有権者の皆さんが政治や選挙への興味と関心をさらに高めていただくきっかけや参考となれば幸いに存じます。

最後に大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会は、市民の皆様に政治と選挙に関心をもっていただき、選挙の際にはぜひ皆さまの一票を投じていただけるよう、今後の啓発活動に取り組んでまいります。

令和7年2月

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	回答者の構成	2,3
3	調査結果	4
	(1) 生活・政治に関する意識	
	問 1 生活の満足度	4
	問 2 国政への満足度	5
	問 3 国政への関心度	6
	問 4 支持する政党の有無	7
	(2) 選挙投票率に関する意識	
	問 5 投票率に対する問題意識	8
	問 6 啓発活動の認知度	8
	問 7 投票率向上の対策	9,10
	問 8 政治の話題性・頻度	11
	問 9 期日前投票制度の認知度	12,13
	(3) 外国人の参政権に対する意識	
	問 10 選挙権に対する意識	14
	問 11 被選挙権に対する意識	15
	(4) 国民投票制度に対する意識	
	問 12 国民投票制度に対する認知度	16
	(5) 意見・感想の集計	17
4	調査票	18,19
5	資料	
	(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移(大和市)	20
	(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移(大和市)	20
	(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移(大和市)	21
	(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移(大和市)	21
	(5) 大和市長選挙投票率の推移	22
	(6) 大和市議会議員選挙投票率の推移	22

Ⅰ 調 査 の 概 要

Ⅰ 調査の目的

選挙において投票する際には、普段から政治について知識と関心を持ち、さらに「投票」という有権者としての意思表示に参加する意欲を持つことが必要です。この参加意欲の向上を図るために、選挙啓発活動は重要な役割を担っています。

有権者の政治や選挙に対する意識は、年代や性別などによりさまざまありますが、その違いを的確に把握することで、より効果的な選挙啓発活動を行うことが可能となります。

今回の調査は、有権者の生活や政治に関する意識のほか、選挙時の投票行動について調査したものであり、今後の選挙啓発活動に役立てるための資料とするものです。

Ⅱ 調査の方法

(1) 調 査 対 象 者：市内に居住する満18歳以上の男女

(2) 調査対象者数：1,000人

①20歳以上の有権者から800人

②19歳の有権者から100人

③18歳の有権者から100人

(3) 抽 出 方 法：選挙人名簿から無作為に抽出

(4) 調 査 方 法：郵便調査法（回答も郵便による）

Ⅲ 調査した事項（18・19ページ調査票参照）

(1) 生活・政治に関する意識

(2) 選挙投票率に関する意識

(3) 外国人の参政権に関する意識

(4) 国民投票制度に対する意識 ほか

Ⅳ 調査の実施時期

令和6年8月1日発送（令和6年8月30日締切）

Ⅴ 調査票の回収数・回収率

307枚・30.7%

Ⅵ 調査結果の集計

大和市選挙管理委員会のPCにより集計

※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

Ⅶ 調査結果の分析

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

Ⅷ 調査の実施主体

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

2 回答者の構成

《年代別》

	年 代	回答者 (人)	比 率 (%)
1	18～19 歳	26	8.47
2	20～24 歳	16	5.21
3	25～29 歳	14	4.56
4	30～39 歳	30	9.77
5	40～49 歳	35	11.40
6	50～59 歳	54	17.59
7	60～69 歳	51	16.61
8	70～79 歳	51	16.61
9	80 歳以上	30	9.77
	無回答	0	0.00
	計	307	100.0

《男女別》

	性 別	回答者 (人)	比 率 (%)
1	男	130	42.35
2	女	155	50.49
3	その他	2	0.65
	無回答	20	6.51
	計	307	100.0

《職業別》

	年 代	回答者 (人)	比 率 (%)
1	農・林・漁業	3	0.98
2	商・工業	7	2.28
3	自由業	7	2.28
4	建設業	2	0.65
5	管理職	26	8.47
6	事務職	30	9.77
7	専門技術職	37	12.05
8	現業職・販売職	50	16.29
9	主婦・主夫(専業)	62	20.20
10	学生	34	11.07
11	その他の無職	42	13.68
	無回答	7	2.28
	計	307	100.0

《 地 区 別 》

	居 住 地 区	回答者 (人)	比 率 (%)
1	下鶴間・つきみ野	54	17.59
2	中央林間・中央林間西	54	17.59
3	南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1、2、6～8丁目)	40	13.03
4	鶴間(1丁目)・西鶴間(3～5丁目)	14	4.56
5	上草柳・桜森	16	5.21
6	深見、深見西、深見東、深見台、大和東、大和南	32	10.42
7	中央・草柳(1、2丁目)、下草柳	21	6.84
8	草柳(3丁目)・柳橋・福田(1～8丁目)	18	5.86
9	上和田(上和田団地を除く)	20	6.51
10	上和田団地・下和田・いちよう団地	4	1.30
11	福田(地番)・渋谷・代官	27	8.79
	無回答	7	2.28
	計	307	100.0

《 居住年数 》

	現住所の 居住年数	回答者 (人)	比率 (%)
1	1年未満	10	3.26
2	1～5年未満	43	14.01
3	5～10年未満	28	9.12
4	10～20年未満	65	21.17
5	20～30年未満	71	23.13
6	30年以上	84	27.36
7	わからない	1	0.33
	無回答	5	1.63
	計	307	100.0

《 投票所までの所要時間 》

	投票所までの 所要時間	回答者 (人)	比 率 (%)
1	5分未満	62	20.20
2	10分未満	123	40.07
3	20分未満	61	19.87
4	20分以上	15	4.89
5	わからない	15	4.89
	無回答	31	10.10
	計	307	100.0

※「徒歩」による移動を想定

3 調 査 結 果

(1) 生活・政治に関する意識

生活の満足度

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか？



問1は、現在の生活の満足度について問う設問でしたが、満足層（1と2を回答した人）は、前年と比較して、0.7ポイント増の63.8%、また、不満層（3と4を回答した人）は2.1ポイント減で29.2%でした。

図1は、直近10年間の推移を示したものです。直近10年間の推移を見てみると、満足層は、令和2年度に最高値に達したものの、令和4年度にはそこから約10ポイント下落し、その後は現在と同様の約60%前半台で推移しています。

一方、不満層は、令和3年度には最低値に達したものの、令和4年度からは10ポイント以上増加して30%台となり、以降は緩やかな減少傾向となっています。

また、図2の男女別をみると、満足層は男性66.2%、女性62.6%で、不満層は男性28.5%、女性29.7%と、前回の調査とは違い、男性の満足度が高い結果となりました。

図1 生活満足度の推移

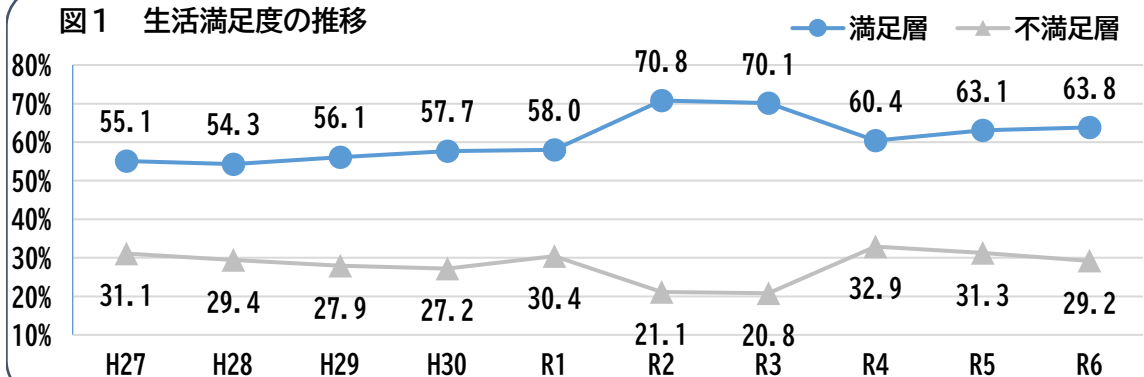
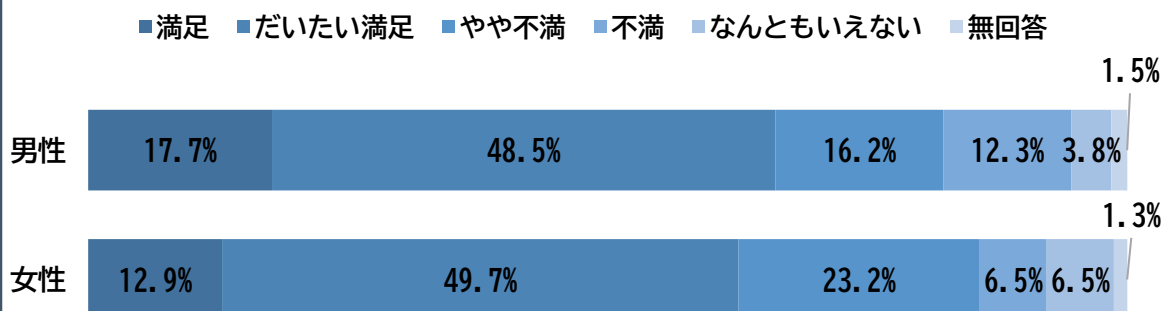
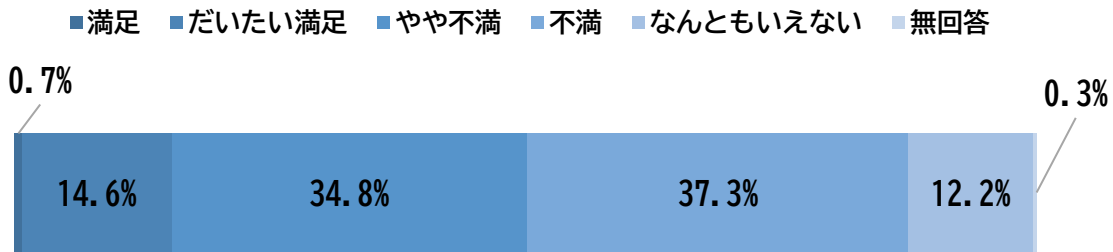


図2 男女別生活の満足度



国政への満足度

問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。



問2は、現在の国の政治についての満足度について問う設問でしたが、満足層（1と2を回答した人）は、前年より1.2ポイント増加して15.3%であるのに対し、不満足層（3と4を回答した人）は、前年より3.2ポイント減少し72.1%と、前年度の結果からすれば、国政に対する不満は少しばかり減ったように感じますが、依然として国の政治に対する不満を抱いている人が多い結果となりました。

図3は、直近10年間の推移を示したものです。直近10年間の推移を見ると、満足層は平成27年には20%に達しましたが、その後は減少し、20%を超えることはありません。また、不満足層につきましては、平成27年から60%台で推移していましたが、令和4年からは70%を超え、現在もこの状況が続いています。

また、図4を見ると、男女別では、満足層は男性19.2%、女性は12.2%で、不満足層は男性50%、女性48.4%という結果となりました。

図3 国政満足度の推移

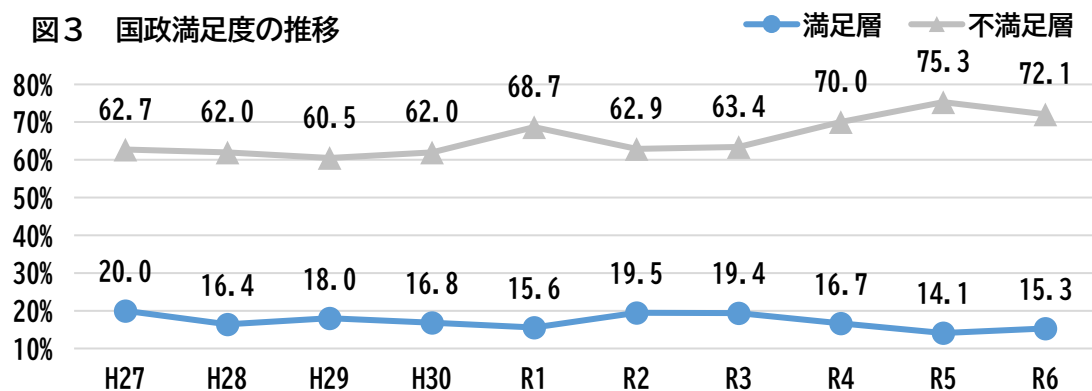
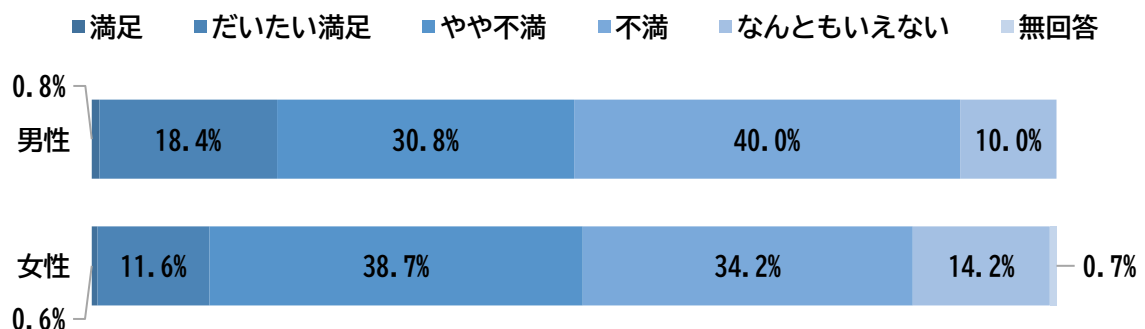


図4 男女別国政への満足度



国政への関心度

問3 あなたは、日頃国の政治に関心をもっていますか。

- 非常に興味がある
- ある程度関心がある
- あまり関心がない
- まったく関心がない
- 無回答



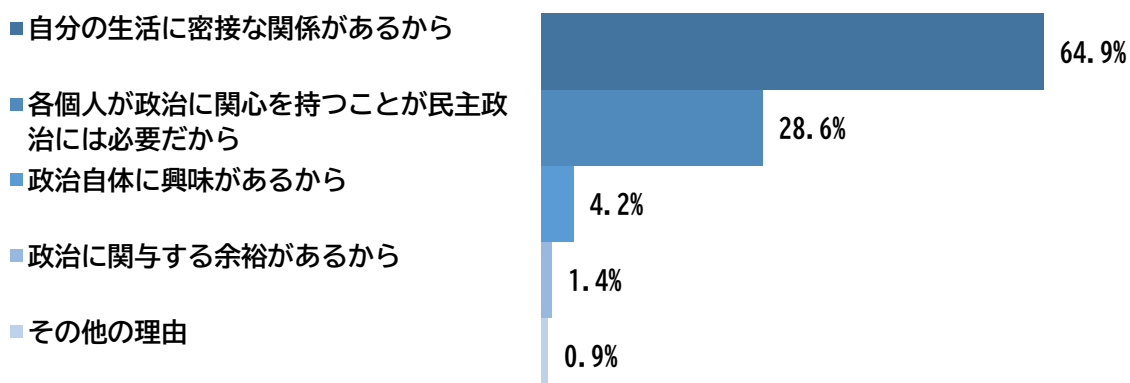
国の政治に関心を持っている人（1と2を回答した人）は74.4%と、昨年よりも0.7ポイント低く、関心がない人（3と4を回答した人）も24.9%と、昨年よりも2.1ポイント高くなりましたが、依然として、国政への関心が高いことが分かります。

関心層の理由としては、「自分の生活に密接な関係があるから」が64.9%と、毎年高い結果となっています。

一方、無関心層では「個人の意見は政治に影響を与えないから」が38.9%で最も高く、続いて、「政治自体に関心がないから」が26.4%と、政治への関わりを避ける結果となっています。

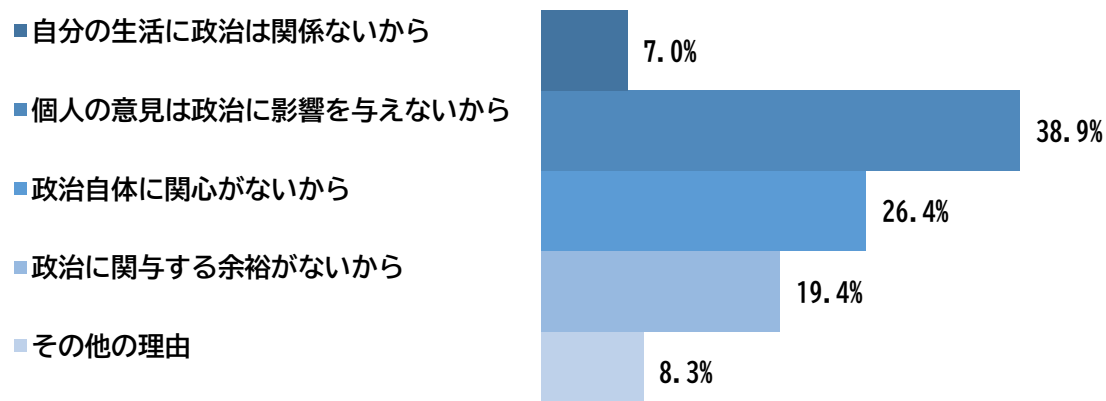
問3の1 その理由はなんですか。

【関心層】



問3の2 その理由はなんですか。

【無関心層】



問4 あなたは、支持する政党がありますか。

- 長い間支持政党あり
- ときどきで変わるが、支持政党あり
- 以前はなし、現在はあり
- 以前はあり、現在はなし
- 支持政党なし
- わからない
- 無回答

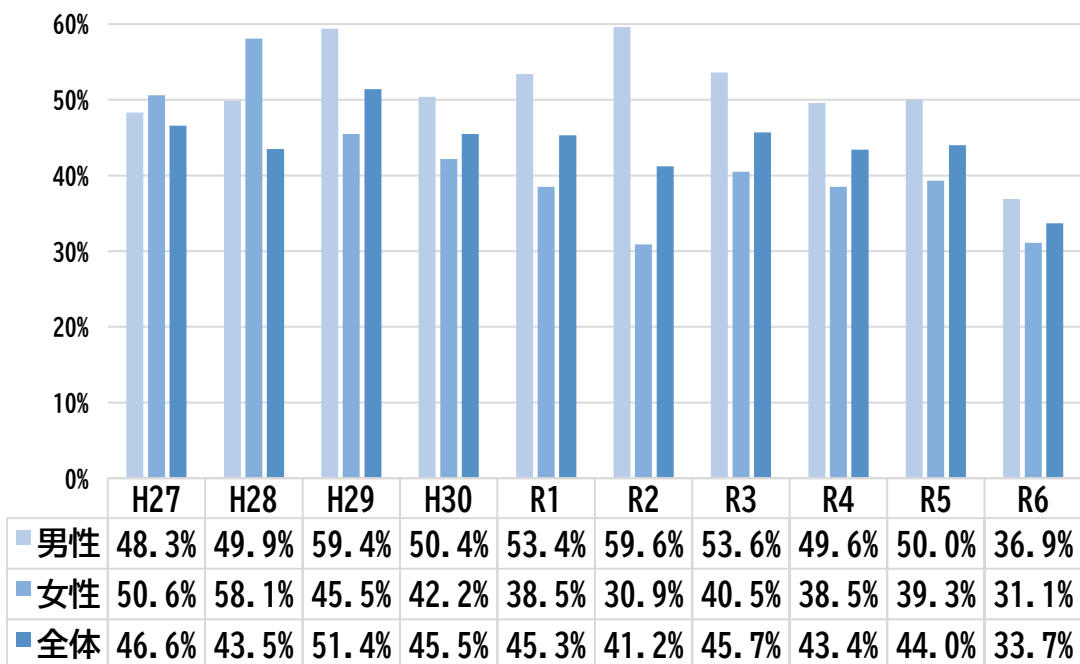


「長い間ずっと支持している政党がある」と答えた固定的政党支持者（11.3%）と、「そのときどきで変わるが支持する政党はある」（18.6%）、「以前は支持する政党がなかったが現在はある」（3.8%）と答えた流動的政党支持者を合わせた「支持政党あり」の人は、33.7%と前年に比べて10.8ポイントも減少しています。

また、「以前は支持する政党があったが現在はなし」あるいは「支持する政党はない」と答えた「支持政党なし」の人は、66%と、こちらも約16%も増加するという結果となりました。

図5の男女別を見ますと、「支持政党あり」の男性は、例年概ね50%前後で推移していましたが、今回36.9%と前回に比べ約13ポイントも減少しました。女性は平成28年の58.1%から、平成29年以降、30～40%台を推移しており、今回も31.1%と前回から8.2ポイント減少しましたが、依然30%台で推移しています。なお、今回の調査において、支持政党の有無は、男女間で約6ポイントの開きとなっていますが、例年に比べてその開きが少なくなっているようです。

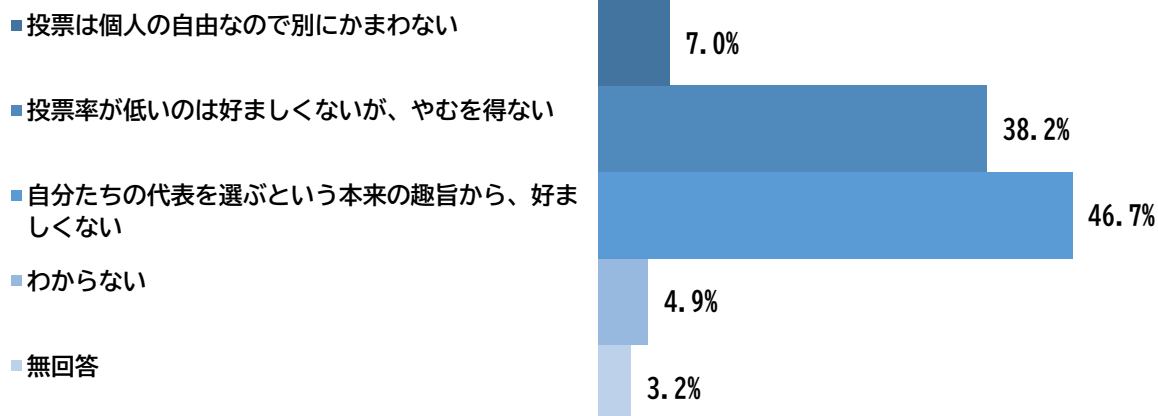
図5 支持政党ありの推移



(2) 選挙投票率に関する意識

投票率に対する問題意識

問5 選挙の投票率は低い状態が続いていますが、このように投票率が低いことについてどう思いますか。

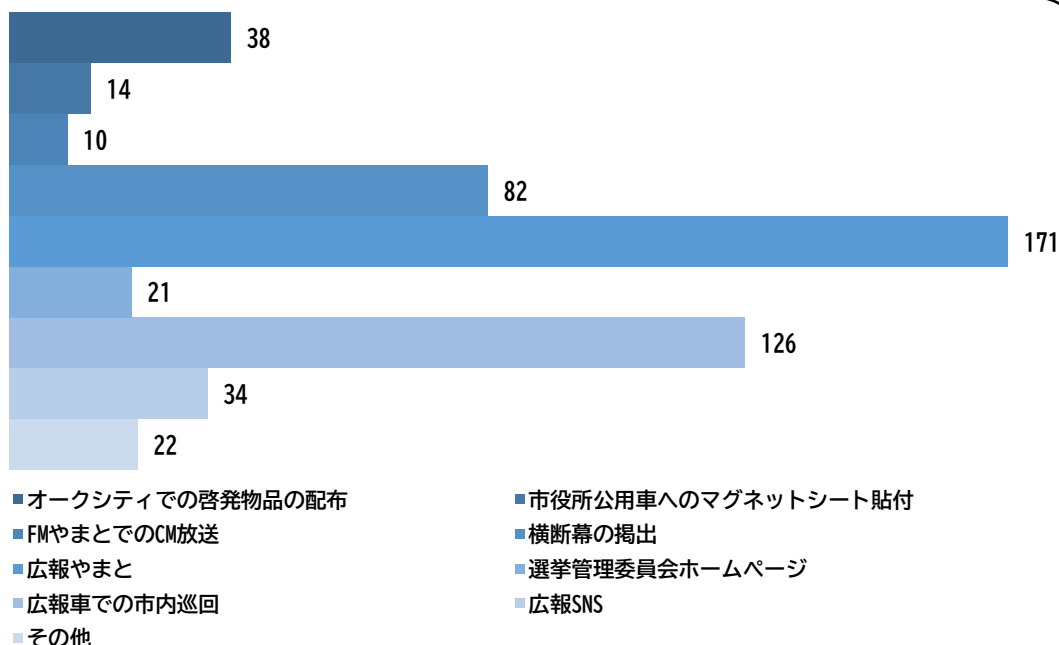


昨今の選挙の低投票率について、好ましくないと回答している方の割合は80%を超えており、有権者の方々も投票率が低いことについて、問題意識をお持ちであることが分かります。

しかし、一方で7%の方が「個人の自由なので別に構わない」と回答しています。

啓発活動の認知度

問6 選挙管理委員会では、選挙が行われる際には、様々な方法で選挙の周知・投票率の向上に向けた啓発活動を行っています。その中であなたが知っている物を次の中から選んでください。



選挙管理委員会で行っている活動の中では、広報やまとへの記事の掲載(171)、広報車での市内巡回(126)、横断幕の掲出(82)が有権者の方に選挙啓発として届いているという結果となりました。逆に、FM やまとでのラジオ CM や選挙管理委員会の HP などは、有権者が自発的に情報を取得しに行かないといけない分、情報が行き届きにくいという結果となりました。

これらの結果を踏まえ、今後の啓発活動の参考とさせていただきたいと思います。

問7 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。

次の中から3つまで選んでください。

図6 年代別回答内訳

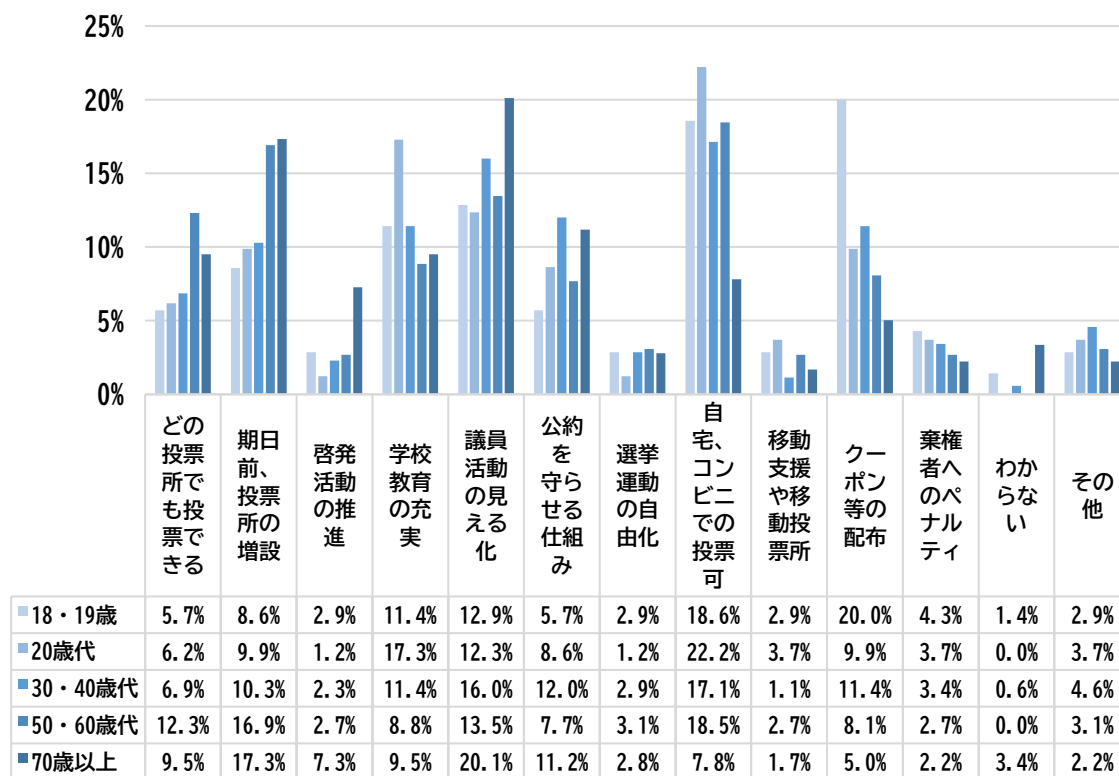


図6は、問7の結果を年代別に分析し、まとめたものです。

「自宅、コンビニでの投票可」は、70歳代を除くどの世代でも選択されており、投票の利便性向上が投票率の向上に繋がると考えている人が多いことが分かります。

以下は、年代ごとの特に回答率が高かった項目に着目して分析していきます。

18・19歳の若年層は、「クーポン等の配布」といったインセンティブ(利益)が投票率向上に影響を及ぼすのではないかと考えているようです。

20歳代については、「学校教育の充実」が2番目に回答率が高い結果となりました。

この年代は、教育過程を終えたばかりの人が多くいるため、在学中に学校教育として政治や選挙についてもっと学びたかったという気持ちの表れなのではないでしょうか。

30・40歳代については、「議員活動の見える化」が特に高い回答率となっています。

この年代になると、自立した生活を営んだり、家庭を持って子育てをしていく中で、政治が自身の生活や仕事、家計に直結していることを実感として学び、より政治家の活動について関心を持つ世代なのではないでしょうか。

50・60歳代については、「投票所や期日前投票所の増設」が高い回答率となっています。

この年代は、仕事では管理職や重要な職位に就いたり、親の介護などで休みの日も忙しかったり、あまりまとまった自由な時間が取りにくくなっていく人も多いのではないでしょうか。なので、平日も投票ができる期日前投票所や、当日の投票所の数が増えることで、投票の機会が増えること

を望んでいるのでしょうか。

70歳以上については、「議員活動の見える化」がすべての年代と比較しても最も高い回答率となっています。

これは、この年代になると、すでに勤めを終え、老後の生活を年金や貯蓄等で賄いながら生活していかなければならない世代であり、国の政策や政治によって最も生活が影響を受けやすい世代であるため、政治家の日々の活動により目が行きやすいのではないのでしょうか。

問8 あなたは家庭や学校、職場などで、家族や友人と政治的な事柄を話題にしたり、議論したりすることがありますか。

図7 年代別回答内訳

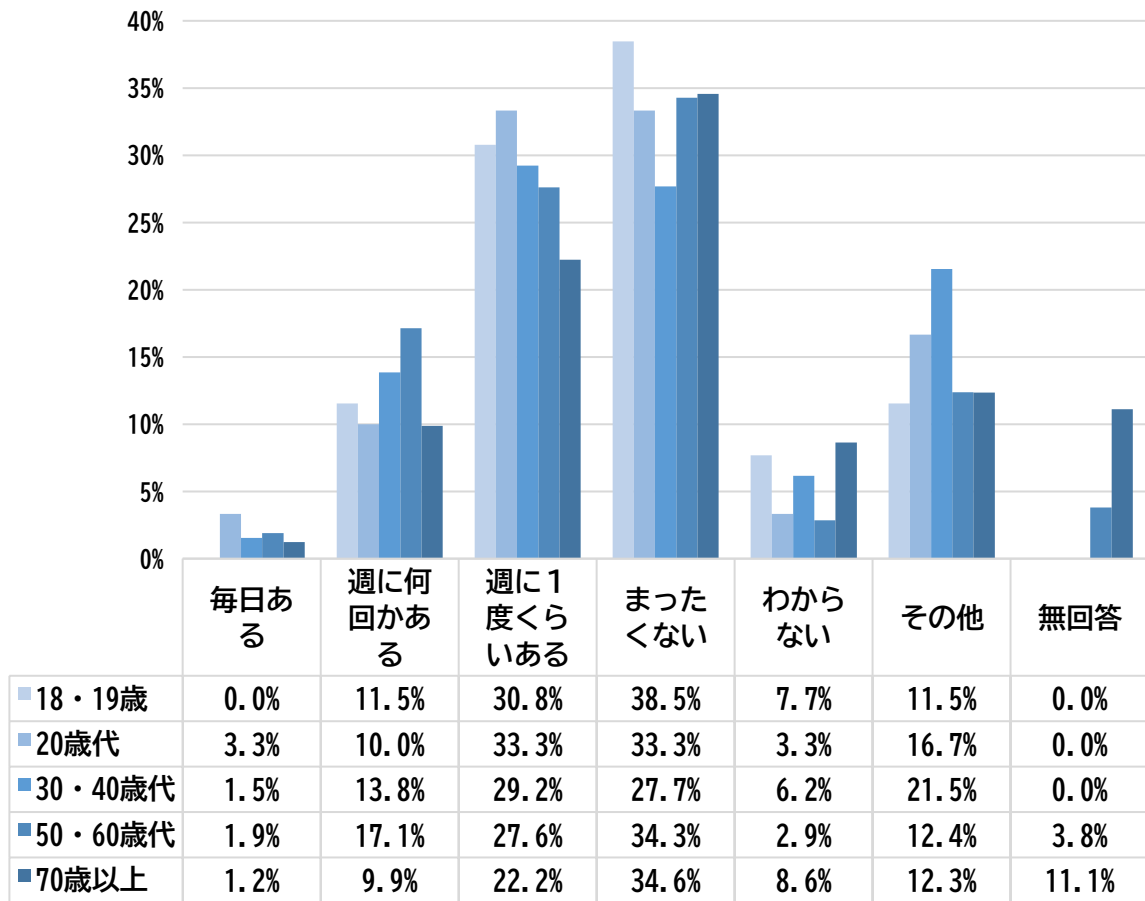


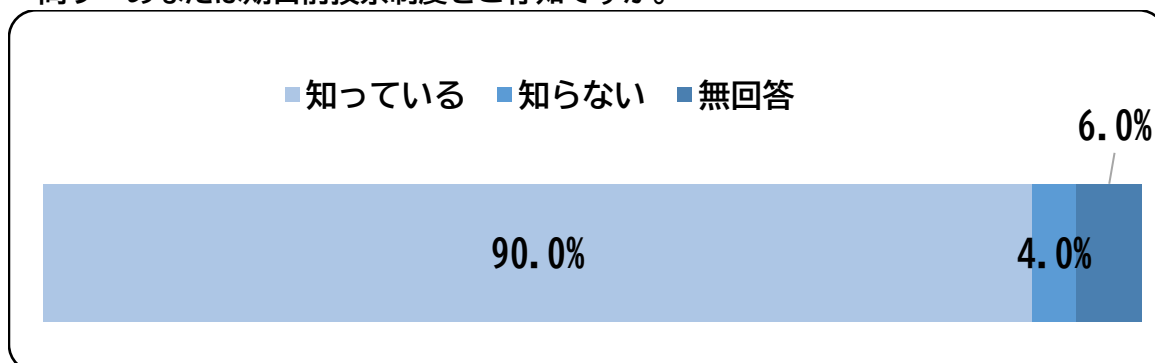
図7から、全年代で家庭や職場などで、家族や友人と政治的な事柄を話題にしたり、議論したりする機会は、約3割の人は「週に1度くらいある」と回答していることが分かります。

逆に、まったくないと回答している人も同様に約3割いるようです。

そんな中でも、割合は少ないものの、20歳代では毎日あると答えている割合が、他の年代よりも高いことが分かります。

こうした若い世代の有権者の方々が、政治に興味・関心を持つことで、自身の考えを明確に持ち、それを選挙で票として投じていただけるようになると、投票率も自ずと向上し、延いてはよりよい社会の造成に繋がって行くことと思います。

問9 あなたは期日前投票制度をご存知ですか。

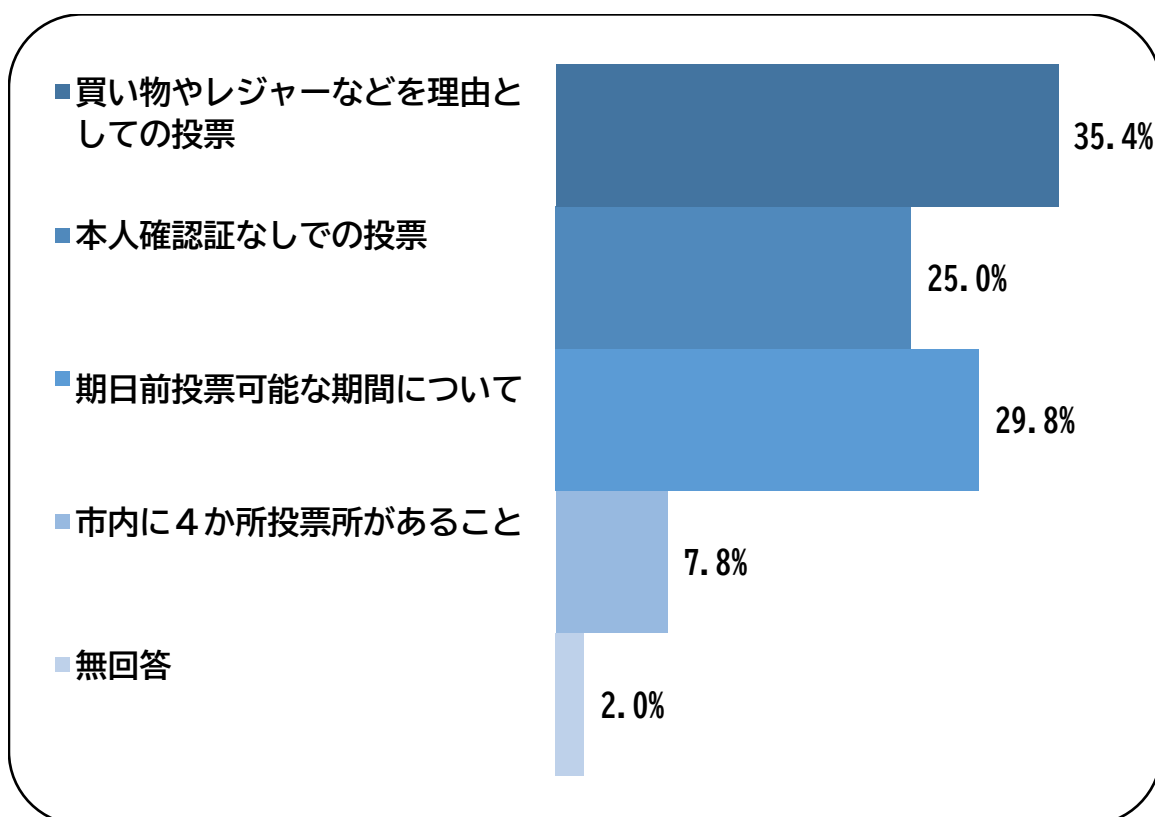


期日前投票制度が始まった平成15年から、約20年が経過しましたが、制度自体の認知度は既に90%を超え、有権者にも制度が浸透していることが分かります。

また、「(期日前投票制度について)知っている項目をすべて選んでください」という問いに対しては、以下のとおりとなりました。

「買い物やレジャーなどを理由として期日前投票ができること」や「公・告示日の翌日から投票日の前日まで毎日投票できること」については、約3割の方がご存知であることが分かりました。

直近で行われた衆議院議員選挙でも、期日前投票をされた方の割合が、全体の投票率の3割を超えていました。



期日前投票所の周知につきましては、選挙時にお届けしている投票所入場整理券にも同封しているお知らせにて周知しているところではありますが、引き続き様々な方法で周知に努めてまいりたいと思います。

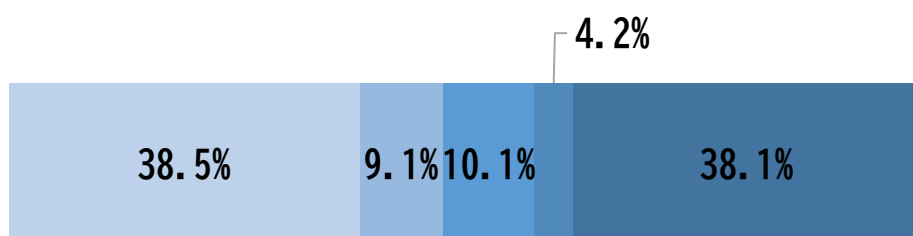
【参考】

【大和市内の期日前投票所】

期日前投票所(施設名)	所在地	投票時間
市役所会議室棟1階	下鶴間 1-1-1	午前 8 時 30 分～午後 8 時
渋谷学習センター (IKOZA3 階)	渋谷 5-22	午前 9 時～午後 8 時
市民交流拠点ポラリス 1 階学習室	中央林間 1-3-1	
文化創造拠点シリウス 2 階会議室	大和南 1-8-1	

問10 国内在住の日本国籍を有していない人（外国人）は国政選挙と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権（投票する権利）がありませんが、どう思いますか。

■今のままで良い ■認めるべき ■わからない ■その他 ■無回答



問10は、外国人の選挙権についての質問でしたが、約4割の方が「今のままで良い」、つまりは選挙権は認めないで良いと考えているようです。

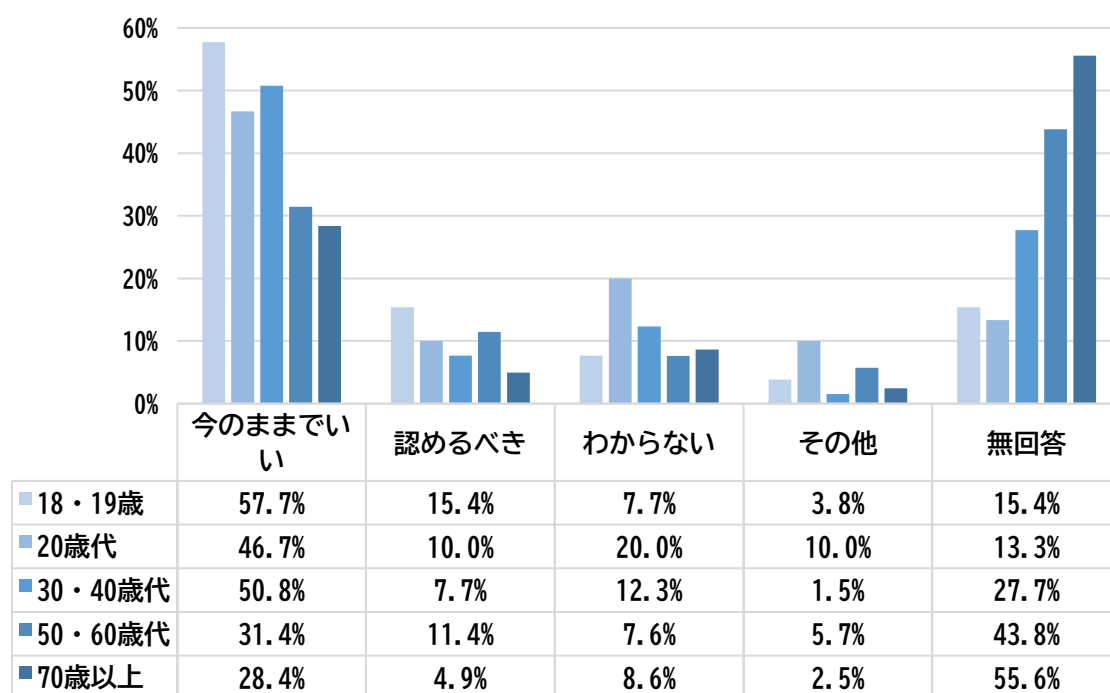
そんな問10の結果を年代別にまとめたのが、下の図8になります。

外国人に選挙権を認めることについて、「選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」がどの年代でも高く、外国人の選挙権には否定的な回答が多いことが分かります。

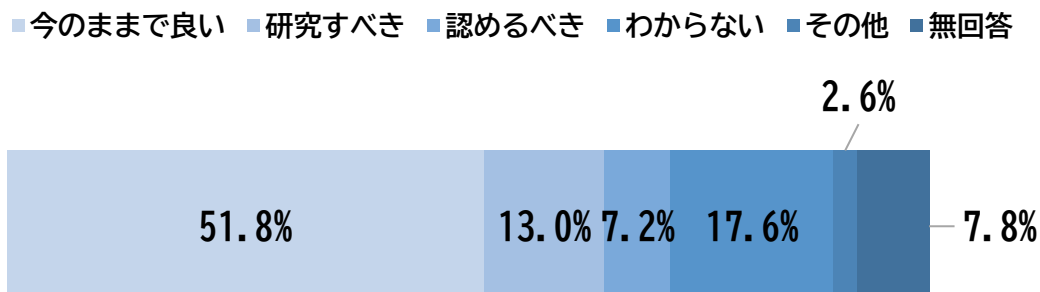
また、「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人についても多くても10%台と、総じて低い結果となっています。

世界的にも「SDGs」や「多文化共生社会」などの話題が出る一方、近年外国人による犯罪のニュースや訪日外国人や移民とのトラブルなど、外国人に関するイメージは必ずしも良いとは言えません。そういった背景も、このような結果に繋がっているのではないのでしょうか。

図8 「外国人の選挙権」に関する意識の年代別内訳



問11 また、同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権（選挙の候補者となる権利）ありませんが、どう思いますか。



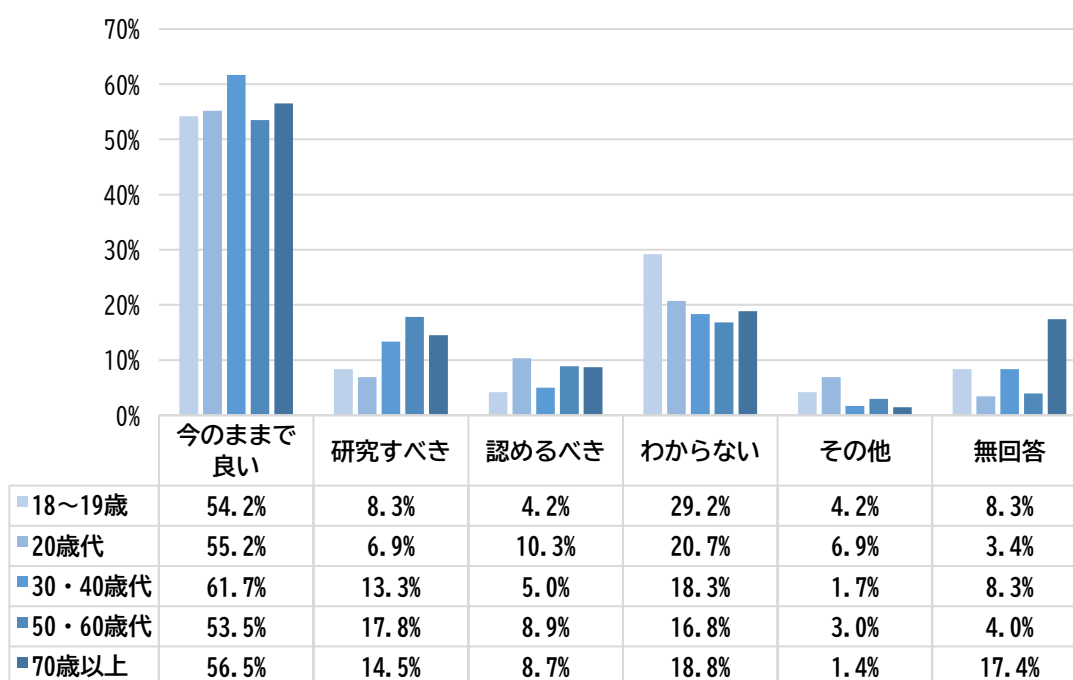
外国人の被選挙権についても、「被選挙権は日本国民の権利とされているので今のままで良い」との回答が51.8%と、半数以上の方が否定的に感じているようです。

問10にて「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は9.1%いましたが、同様に外国人の被選挙権についても認めるべきと回答した人は7.2%となっており、どちらに対しても慎重な意見が多いことがうかがえます。

ただし、「その他」の回答の中には、「在住期間によっては認めてもよい」との意見などがありました。

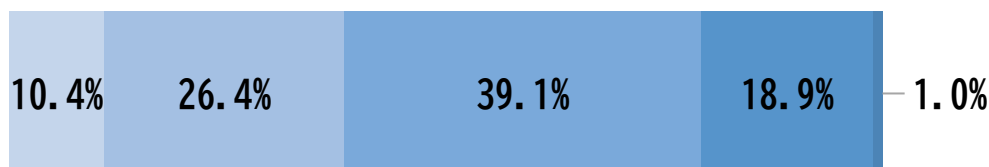
また、図9の年代別内訳を見ても、「今のままで良い」と回答した人の割合が、すべての年代で高くなっています。

図9 「外国人の被選挙権」に関する意識の年代別内訳



問12 憲法改正のためには、国民が賛否を投票（国民投票制度）することが必要となりますが、この制度を知っていますか。

■ 説明できる ■ 内容は知っている ■ 言葉だけなら ■ 知らない ■ 無回答

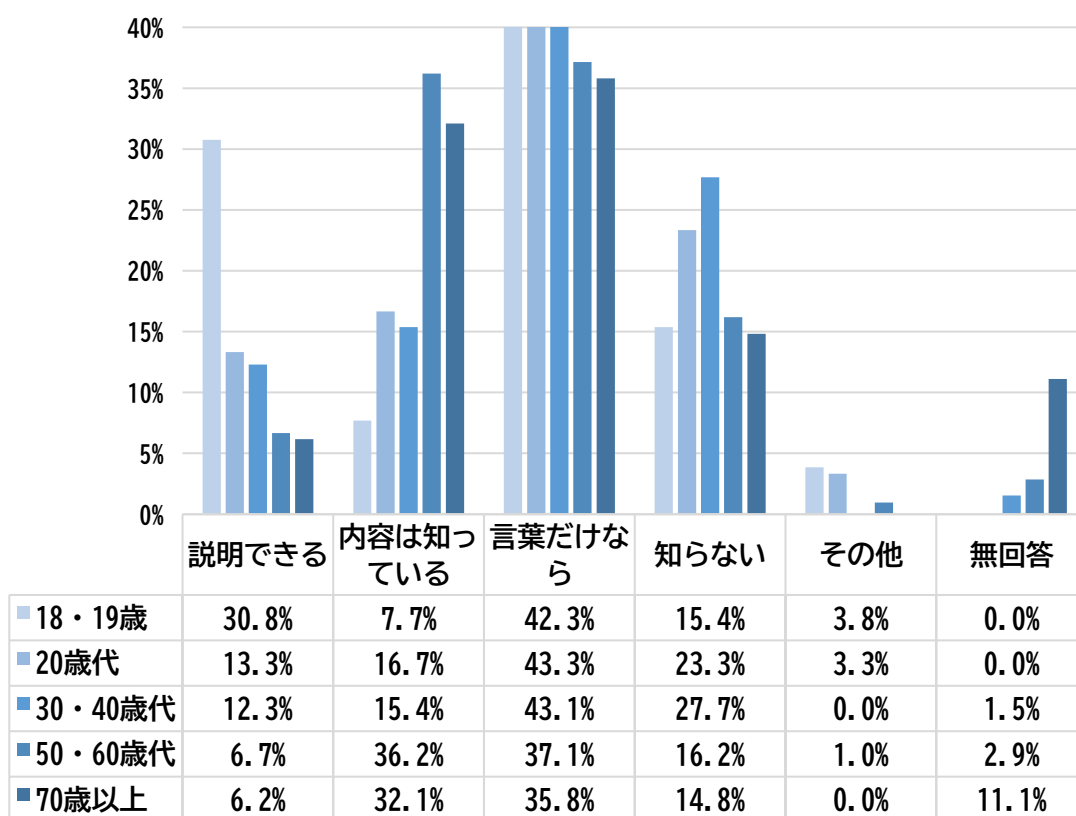


憲法改正が政治の話題となる機会が増えていることから、憲法改正に必要な手続きである国民投票制度の認知状況について質問をしました。

制度の内容まで「説明できる」と回答した方は 10.4%でしたが、「新聞等で報道された内容は知っている」(26.4%)と「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」(39.1%)を合わせると 75.9%となり、「国民投票」という言葉については広く認知されていることが確認できました。

図10の年代別を見ると、18～40歳代までの世代では、約4割の方が「言葉だけなら知っている」と答え、50・60歳代以上になると、約3割の方が、「内容は知っている」と回答しています。

図10 国民投票制度の認知状況（年代別）



(5) 意見・感想の集計

自由意見の集計(99 件)

意識調査にご協力をいただいた方で、意見・感想をご記入いただいたものについて、分類集計いたしました。

1. 政治家(政党)に関する意見(35 件)

- ①政治家の不正や無責任等に対する不信(8 件)
- ②投票したいと思う政治家(政党)がない(4 件)
- ③政治家(政党)の政治に対する姿勢への不満(3 件)
- ④議員・候補者の意見や活動が分かりにくい(9 件)
- ⑤議員の高齢化について(2 件)
- ⑥議員定数や議員報酬について(9 件)
- ⑦その他(2 件)

2. 政治に関する意見(20 件)

- ①現状の政治に不満がある(不祥事等)(12 件)
- ②今後の政治への願い等(3 件)
- ③その他(1 件)

3. 選挙制度に関する意見(9 件)

- ①今の時代に合致していな公職選挙法への批判(6 件)
- ②日本国籍と選挙権(含、外国人参政権)について(3 件)

4. 主権者教育に関する意見(5 件)

- ①主権者教育の重要性(5 件)

5. 投票環境・投票率の向上に関する意見(5 件)

- ①インターネット等の投票推進に関する意見(2 件)
- ②投票率向上のための提案・意見(2 件)
- ③その他(1 件)

6. その他(29 件)

- ①日本の将来についての意見(13 件)
- ②市政・市議会に対する意見(1 件)
- ③このアンケート調査について(11 件)
- ④政治や選挙の無関心(1 件)
- ⑤その他(3 件)

4 調 査 票

令和 6 年度

政治と選挙の意識調査

《記入及び郵送についてのお願い》

- 必ずご本人が記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 設問は上から順に回答してください。また矢印や指示がある場合は、それに従ってください。
- 記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信用封筒でご返送ください。
- 8月30日（金）までにご投函くださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

大和市明るい選挙推進協議会

大和市選挙管理委員会事務局

電話：046（260）5542

（電話受付時間：月曜日～金曜日

※土、日、祝日を除く

9：00～12：00、13：00～17：00）

回収順番号

■ 最初にあなた自身のことについてお聞かせください。

性 別	1 男性	2 女性	3 その他（答えたくない）	
年 代	1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～39歳
	5 40～49歳	6 50～59歳	7 60～69歳	8 70～79歳
	9 80歳以上			
職 業	(自営業、家族従事者)		2 商・工業（商店、個人工場経営者など）	
	1 農・林・漁業		4 建設業	
	3 自由業（開業医、弁護士、芸術家など）			
	(勤め人)		6 事務職（一般事務、経理など）	
	5 管理職（企業や公務員の課長職以上）		8 現業職・販売職（作業的な仕事、販売・サービスの仕事、パート的な仕事など）	
	7 専門技術職（医師、看護師、技術者、教師、保育士など）			
	(無職)		10 学生	
	9 主婦・主夫（専業）			
	11 その他の無職			
居住地区	1 下鶴間・つきみ野		2 中央林間・中央林間西	
	3 南林間・林間・鶴間（2丁目）・西鶴間（1丁目、2丁目、6丁目～8丁目）		4 鶴間（1丁目）・西鶴間（3丁目～5丁目）	
	5 上草柳・桜森		6 深見・深見西・深見東・深見台・大和東・大和南	
	7 中央・草柳（1丁目、2丁目）・下草柳		8 草柳（3丁目）・柳橋・福田（1丁目～8丁目）	
	9 上和田（上和田団地を除く）		10 上和田団地・下和田・いちょう団地	
	11 福田（地番）・渋谷・代官			
現住所の居住年数	1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満
	5 20～30年未満	6 30年以上	7 わからない	
投票所までの所要時間	1 5分未満	2 10分未満	3 20分未満	4 20分以上
	5 わからない			

※「徒歩」による移動を想定した場合の時間数で番号を選択してください。

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- たいたい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- たいたい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問3 あなたは、日頃国の政治に関心をもっていますか。次の中から1つ選んでください。

- 非常に関心をもっている
- ある程度関心をもっている
- あまり関心が低い
- まったく関心が低い

（1、2と回答された方は 問3の1へ）

（3、4と回答された方は 問3の2へ）

（問3の1）その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に密接な関係があるから
- 各個人が政治に関心をもつことが民主政治には必要だから
- 政治自体に興味があるから
- 政治に関与する余裕があるから
- その他（具体的に：)

（問3の2）その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に政治は関係ないから
- 個人の意見は政治に影響を与えないから
- 政治自体に興味がないから
- 政治に関与する余裕がないから
- その他（具体的に：)

問4 あなたは、支持する政党がありますか。次の中から1つ選んでください。

- 長い間ずっと支持している政党がある
- そのときどきで変わるが、支持する政党はある
- 以前は支持する政党があったが、現在はある
- 以前は支持する政党があったが、現在は無い
- 支持する政党はない
- わからない

（裏面にも設問がありますので、ご協力をお願いいたします。）

問5 選挙の投票率は低い状態が続いていますが、このように投票率が低いことについてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 投票は個人の自由なので別にしまわない
- 2 投票率が低いのは好ましくないが、やむを得ない
- 3 自分たちの代表を選ぶという本来の趣旨から、好ましくない
- 4 わからない

問6 選挙管理委員会では、選挙が行われる際には、様々な方法で選挙の周知・投票率の向上に向けた啓発活動を行っていますが、その中であなたが知っている物を次の中から選んでください。(いくつお答えいただいても可)

- 1 オークションでの啓発物品の配布(折り紙、ウェットティッシュなど)
- 2 市役所公用車へマグネットシートの貼付
- 3 FMやまとでのスポットCM
- 4 横断幕の掲出
- 5 広報やまとへの記事の掲載
- 6 選挙管理委員会ホームページへの記事の掲載
- 7 広報車での市内巡回放送
- 8 広報SNSによるお知らせ
- 9 その他(自由記入欄)

問7 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

- 1 市内のどの投票所でも投票できるようにする
- 2 投票所や期日前投票所の場所を増やす
- 3 投票参加への啓発活動をより積極的に進める
- 4 学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる
- 5 議員の活動がより有権者に見えるようにする
- 6 候補者に公約を守らせるような仕組みを考える
- 7 選挙運動をもっと自由にして、選挙に関する関心や参加を高める
- 8 自宅やコンビニなどで投票をできるようにする
- 9 投票所への移動支援や移動投票所を実施する
- 10 投票した人に商店街等で利用可能なクーポンを渡す
- 11 投票を棄権した人に何らかのペナルティを課す
- 12 わからない
- 13 その他(具体的に:)

問8 あなたは家庭や学校、職場などで、家族や友人と政治的な事柄を話題にしたり、議論したりすることがありますか。

- 1 次の中から1つ選んでください。
- 2 毎日ある
- 3 週に何回かある
- 4 まったくない
- 5 週に1度くらいある
- 6 わからない
- 7 その他(具体的に:)

問9 あなたは期日前投票制度をご存知ですか。

- 1 知っている(1と回答された方は問9の1へ)
- 2 知らない(2と回答された方は問10へ)

(問9の1) 次の中から知っている項目をすべて選んでください。

- 1 買い物レジャーなどを理由として期日前投票ができること
- 2 自薦や本人確認証を持参しなくても、期日前投票ができること
- 3 期日前投票は、公・告示(立候補の届出)日の翌日から投票日の前日まで毎日(土日を含む)ができること
- 4 市内に4か所の期日前投票所があること

問10 国内在住の日本国籍を有していない人(外国人)は、国政選挙(衆・参議院選挙)と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権(投票する権利)がありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い
- 2 地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである
- 3 わからない
- 4 その他(具体的に:)

問11 また同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権(候補者となる権利)もありますが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 被選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い
- 2 国は外国人の被選挙権について研究すべきである
- 3 地方公共団体の議員や長の被選挙権を外国人にも認めるべきである
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に:)

問12 憲法改正のためには、国民が賛否を投票(国民投票制度)することが必要となりますが、あなたはこの制度をご存知ですか。

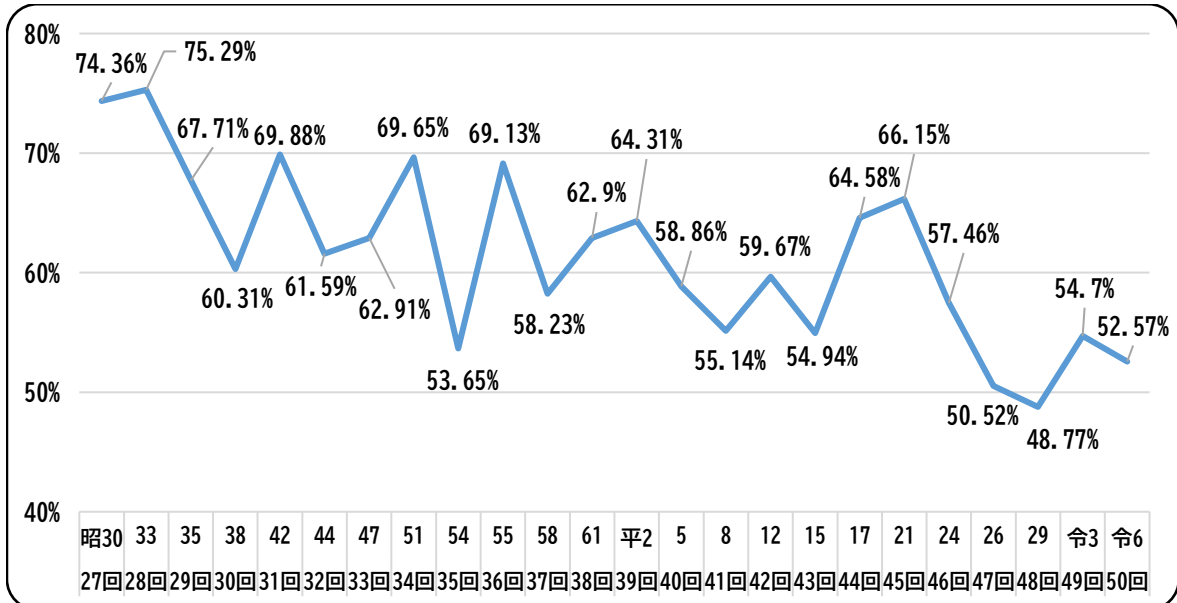
- 1 次の中から1つ選んでください。
- 2 知人等に説明できる程度は知っている
- 3 新聞等で報道された内容は知っている
- 4 内容は知らないが「国民投票(制度)」という言葉は聞いたことがある
- 5 知らない
- 6 その他(具体的に:)

◎自由意見欄 : 政治や選挙に関して日頃から感じていること、またはこのアンケートに回答して感じたこと等、自由にご記入ください。

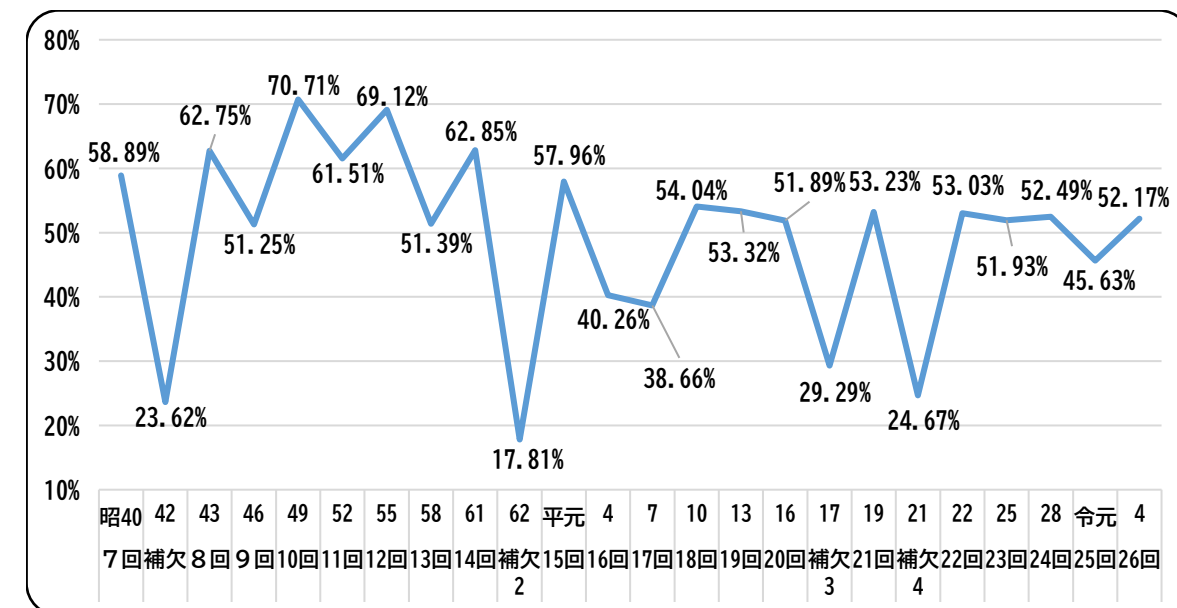
ご協力ありがとうございました。

5 資 料

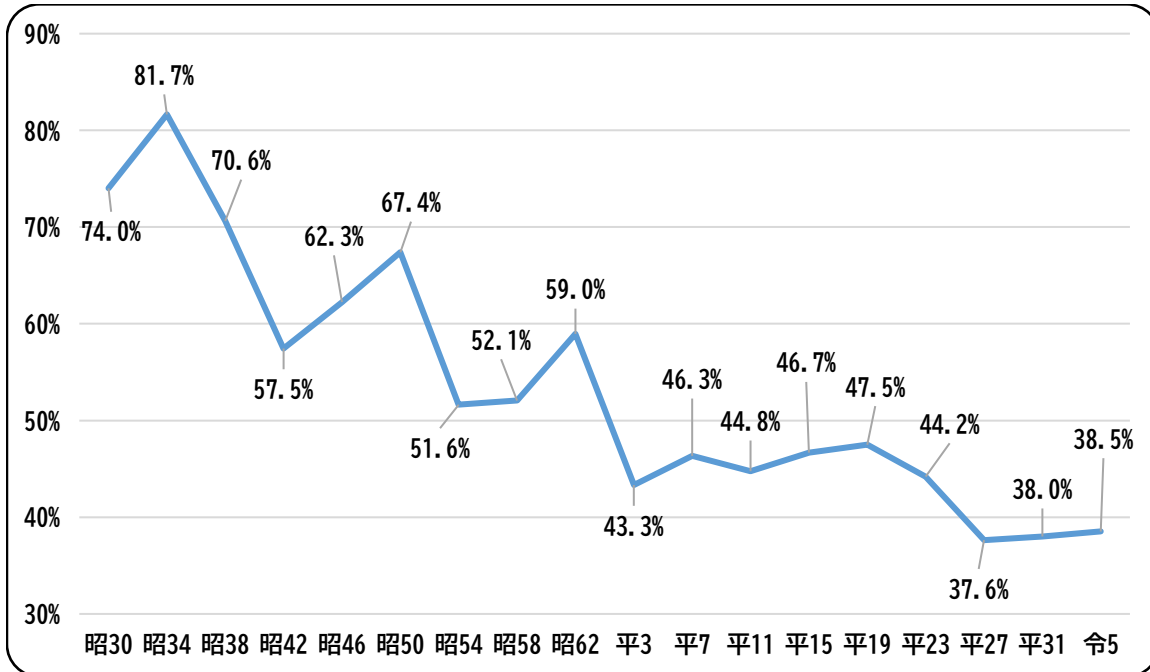
(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）



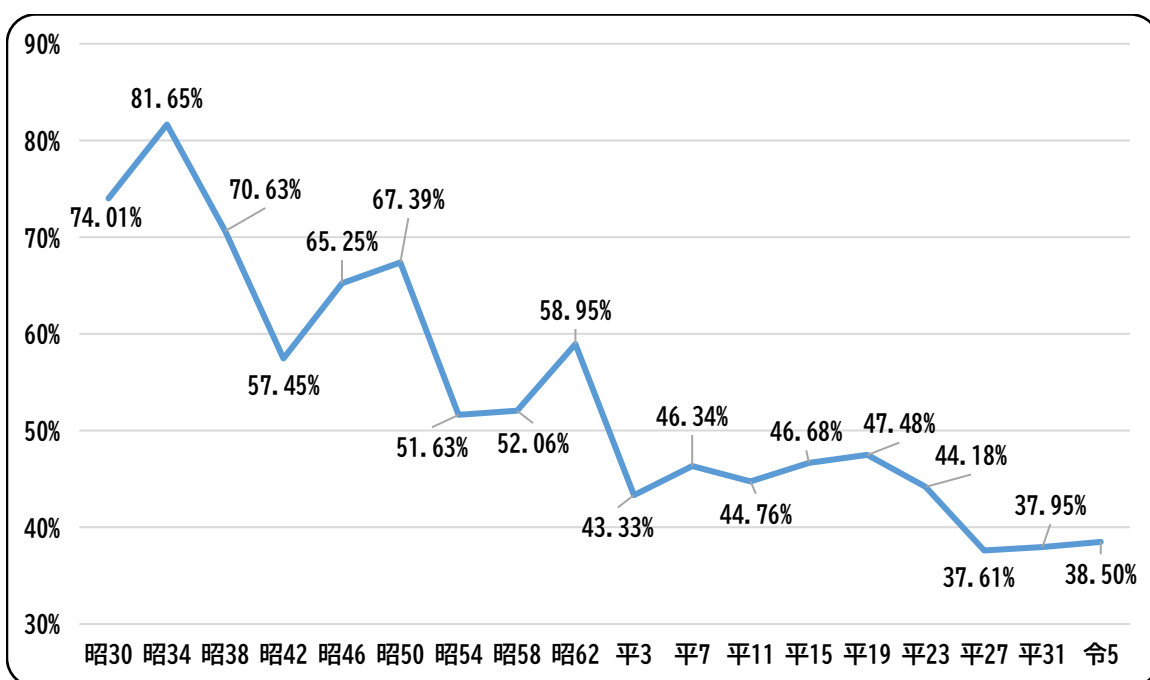
(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）



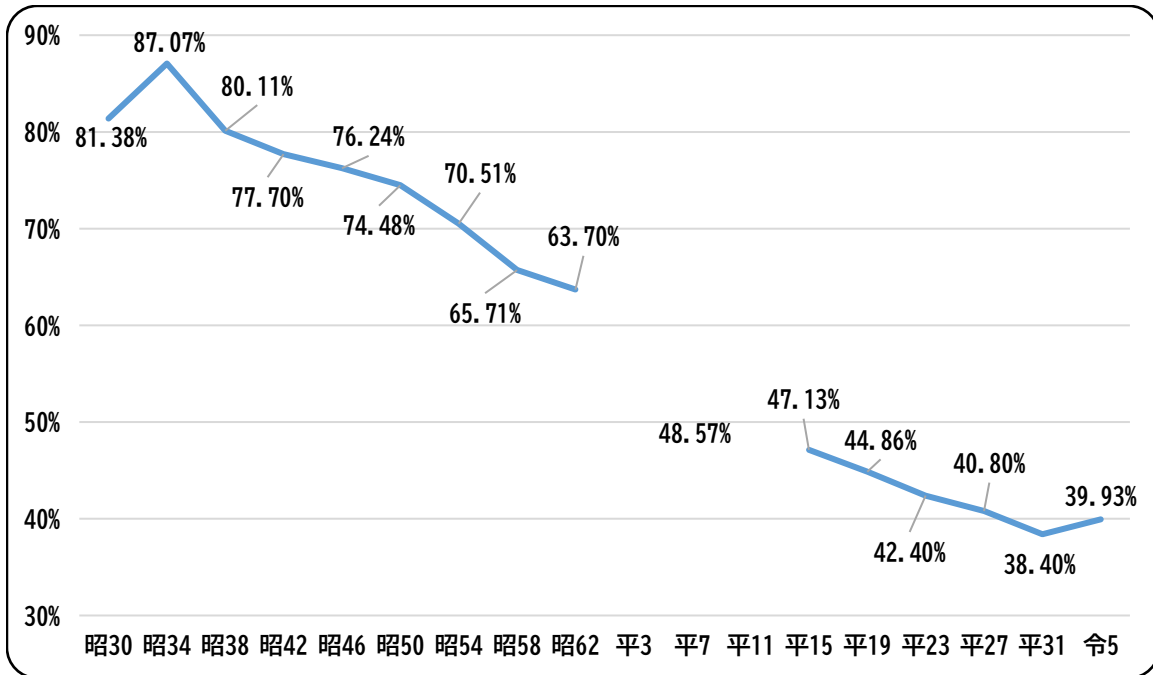
(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移（大和市）



(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移（大和市）

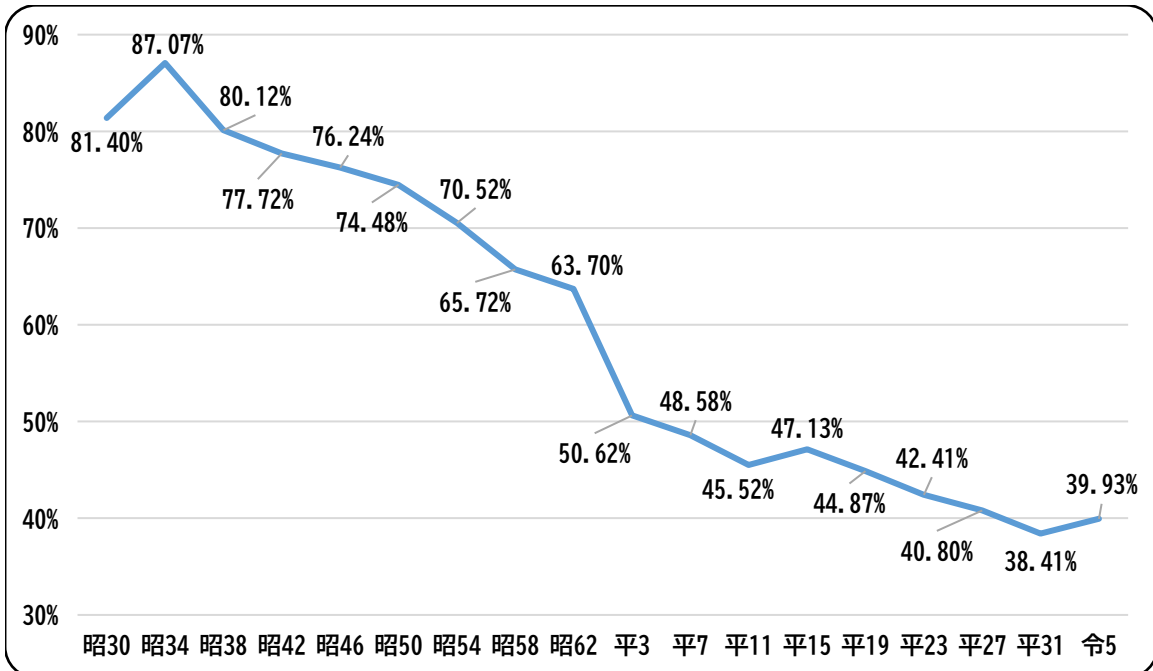


(5) 大和市長選挙投票率の推移



※平成3年及び11年は無投票

(6) 大和市議会議員選挙投票率の推移



☆ みんなの一票大切に！ ☆



明るい選挙キャラクター「選挙のめいすいくん」